



佐渡ジオパーク

■祝!!野生下生まれ同士のトキのペアから「純野生」のトキのひな誕生!!

4月22日、野生下生まれ同士のトキのペアからひなが誕生したことが確認されました。純粋な野生下生まれのひなの誕生は40年ぶりのことです。

また、5月10日の環境省発表によると、野生下で営巣が確認されているペアは32組となり、そのうちヒナが確認されているペアは17組、抱卵が確認されているペアは14組となりました。

繁殖期はトキが最も敏感になる季節です。人が巣に近づくとトキが危険を感じて巣を放棄してしまうこともあります。ひなが巣立ちする6月ごろまで営巣地への接近などは控えてくださいますようご協力をお願いします。



市役所前にてトキ野生下二世ひな誕生お祝い

■佐渡市が平成28年度「みどりの日」自然環境功労環境大臣表彰を受けました

今年度の「みどりの日」自然環境功労について旧両津市および旧新穂村の頃から行われてきた佐渡のトキ保護活動が選ばれました。

4月20日に東京で表彰式が行われ、佐渡市から三浦市長が出席しました。



ふれあいプラザのヒナもすくすく育っています

◆市役所農林水産課農業政策室
トキ政策係(トキ交流会館内)
☎24 | 6040

断層って何者?

「平成28年熊本地震」は、4月14日にマグニチュード6.5、16日にはマグニチュード7.3の「本震」を観測し、その後も余震が続き被害が拡大していきましました。

地震を引き起こす活断層は、日本列島をはじめ佐渡にもあります。しかし、断層があるからといって、すぐに災害に繋がるわけではありません。断層が一体何者なのかを知り、どのように対処し、付き合っていくかを考えることが重要です。例えば、佐渡では断層の動きによって水を得た地域と水を遮られた地域があります。

小木半島では、断層に沿って移動している水を確保するため、横井戸を掘りました。断層が動き岩同士がこすれると、岩石は粘土のように変化します。この粘土のようになった岩石は水を通さないため、断層に沿って水が流れていくのです。横井戸は岩石の性質をうまく利用した井戸なのです。



小木半島の横井戸

二見半島では、中山トンネル付近に断層があるため金山山からの水が届きません。したがって、二見半島ではた

め池を作り、水を得る農法が発達しました。断層によって、水を得た小木半島と水が遮られた二見半島が同じ島の中に存在します。大地の動きが、同じ佐渡の中でも違いを生み出しているのです。



二見半島の溜め池

◆教育委員会社会教育課
ジオパーク推進室(両津支所内)
☎27 | 4185

「阿蘇ジオパーク復興支援金口座」の開設について

熊本地震で被災した阿蘇ユネスコジオパークでは、復興に向け支援金口座を開設しました。ご支援よろしくお願いたします。

支援口座：肥後銀行 宮地支店
普通 口座番号：1419042
口座名義：阿蘇ジオパーク復興支援金
(アソジオパークフッコウシエンキン)